

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 附属病院 中央放射線部
氏 名 永澤 直樹

活動テーマ	乳がんマンモグラフィ検診受診率の向上と検診結果共有ネットワーク普及のための活動
実施期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成24年 3月31日
活動内容	<p>乳がんは40歳以上の女性がかかる癌の第1位であり、日本人女性の20人に1人が罹患する癌です。ちょうど働き盛りの年代に起こるがんであり、もし、乳がんにかかって長期休職になると職場の業務にも影響を及ぼす社会的な側面もあります。しかしこの癌は早期発見を行うことで完全治癒が期待できます。早期発見にはマンモグラフィによる乳がん検診が有効であり、厚生労働省も検診受診率50%を目指していますが、三重県では10%程度で全国的にも下位となっています。</p> <p>そこで、三重大学病院を筆頭に県内の医療機関の有志が集まって結成された「NPO三重乳がん検診ネットワーク」と活動を行い、また、三重県庁健康福祉部の協力を受け、県民への乳がん検診受診率向上のための啓発活動や、医療従事者に対し技術の向上のための講習会を開催しました。また県内の医療機関（24施設）をネットワークで結び、乳がん検診結果を一括管理する事が出来るシステムを用いて、県内どの医療機関で検診を受診しても過去の結果を加味した検診をうけることができるような環境を作り、維持管理を行いました。</p> <p>大きなイベントとしては、これらの三重県内 NPO メンバーが集まり、三重大学が開発した乳がん検診診断システムを用いて、三重県庁と共同で、H23年10月8日に三重県一斉乳がん検診無料体験イベント・遠隔読影診断を行いました。また乳がん検診啓発番組を作成し、10月の1ヶ月間毎日テレビ放映しました。</p> <p>様々な成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳がん検診啓発テレビ番組（30分番組）作成 三重県下全域の各ケーブルテレビ局において10月の1ヶ月間毎日放送。 ・乳がん検診啓発リーフレットの作成、配布（5,000部） ・ネットワーク登録者の増加（H24年2月末：106,000人、三重県の乳がん検診人口の約20%） ・三重県一斉乳がん検診無料体験イベント・遠隔読影診断（H23年10月8日） ・乳がん検診学会（H23年10月21,22日 岡山コンベンションセンター）にて学会発表「実現可能で有効な検診システムに向けての各地区での取り組み、研究 県内乳がん検診の実態と余力に関する調査 受診率50%達成に向けて(第2報)」

・論文

【乳腺画像診断】 三重乳がん検診ネットワークの活動と、超高速専用回線を用いたマンモグラフィ遠隔画像診断システム(解説/特集) 映像情報 Medical(1346-1354)43 巻 3 号 Page180-185

県内乳がん検診の実態と余力に関する調査－受診率 50%達成に向けて 日本乳癌検診学会誌第 21 巻第 1 号 p65-71

・県内医療従事者対象の『第 6 回三重県マンモグラフィ技術講習会』の開催 (24 年 2 月 18,19 日開催、鈴鹿医療科学大学)



乳がん検診啓発番組『知って学ぼう! 「乳がん検診のススメ」』
県下全域の各ケーブルテレビ局で 1 ヶ月間毎日放送。



三重県一斉乳がん検診無料体験イベント・遠隔読影診断 (津まつり)